

住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第1523号 2000年01月04日(火)

《 congratulations 》

見出しには二つの意味があります。2000年明けましておめでとうございます、という意味と人類は懸念されたコンピューターのY2K移行を大事なしで乗り切れそうで、それはおめでたいということ。

Y2Kについては、このレポートを書いている4日早朝の段階で、どこの市場、どこの国の経済体からも大きな傷害の発生は報告されていない。個々のコンピューターやソフトウェアからデータが消えたなどの報告はマイナーなレベルで幾つも報告されているし、筆者の身の回りやメール仲間の間でも発生している。しかし、いずれもシステム全体に関わるものではなく、ただちに修復が可能な程度の事故ばかりである。3日の海外市場は、大きな支障なく推移した。

もっとも市場の動きは劇的でした。日本人が寝るくらいの時は、欧州の市場は軒並み高値を更新した。2000年問題を乗り切ったところで、「技術に対する信頼」が戻り、昨年末に買われた銘柄(通信、コンピューターなど)に加えて、化学などに買い物が入ったため。しかし、ニューヨーク市場が開くと利食い先行となり、代表的な株価指数は大きく下げに転じた。引け段階でニューヨークのThe Dow industrials は139.61ドル下げて、11357.51ドルとなった。しかし、NASDAQ 総合指数は61.84ドル上昇して、4131.15と新高値を記録。

欧州の株価は以下の通りです。

European Stock Market Indexes

| Market | Index | Jan. 03 | Change |
|-------------|---------------|---------|---------|
| Belgium | Bel-20 | 3311.05 | - 0.88% |
| France | CAC 40 | 5917.37 | - 0.69% |
| Germany | Xetra DAX | 6765.18 | - 2.77% |
| Italy | MIBtel | 28094 | - 3.04% |
| Netherlands | AEX | 675.44 | + 0.60% |
| Spain | Ibex-35 | 1610.00 | - 0.27% |
| Sweden | General Index | 5509.27 | + 2.37% |

ダウが下げたのは、2月早々に開かれる FOMC で FRB が利上げをするのではなかとの見方が強まって、指標 30 年債が 28 ヶ月ぶりの安値を記録したため。30 年債は一時 6.62% に上昇した。今年はインフレ懸念と金利上昇懸念の強い年になりそうだ。Y2K の乗り切りで世界的株価が上昇すれば、割高感がいっそう高まっただけに、世界の株価が年初に利食いで下げに転じたことは、健全な動きと言える。

為替は全体に動意薄で、101 円台で推移。

〈 have a nice week 〉

今日はちょっと短め。正月はどうでしたか。Y2K でゆっくり休めなかった人も多かったのでは。何も大きなことは起きなくて良かった。Y2K で世界はリセッションになると予想していたエコノミストも居ましたが、見事外れた。このニュースでは一貫して Y2K 恐るるべからずという立場でした。

それにしても、Y2K も悲喜こもごもです。誰も正確な数字は知らないでしょうが、世界の国、企業などなどが Y2K 乗り切りに費やしたお金は 2500 億ドルとも伝えられる。ちょっと小さな国の GDP くらいが使われている。しかも、何らかの形で Y2K に動員された技術者は、コンピューター関連の全技術者の 4 分の 1 とも 3 分の 1 ともで言われ、さらに古い技術しか持たない技術者も大量に職場復帰した。中には、監獄から。

技術者だけでなく、総務から何からあらゆる部門の人間が動員された形跡がある。これほど騒ぎ、メンタリリーに準備したのに世界がなぜこの大きな節目を切り抜けられたのか、という謎解きが既に始まっている。

一つは騒ぎすぎたのでしょう。その他で今までに出た回答は以下のようなものである。

1. 今まで共通の敵に一致して当たることがなかった世界中の国、企業が最後はバグ取りに最大の注力をした
2. そのために、惜しみなくお金と人を投入した
3. 特に最後の数ヶ月の追い込みが効果を発揮した

など。しかし、どうもそれだけではないようです。世界でも一番心配されたのはロシアとか中国とかパラグアイとか Y2K 後進国での深刻な問題発生。例えばパラグアイなどは停電などが確実に起こるくらに言われていたようです。しかし、何もおこらなかった。でてきた見方は、late comers はもともとコンピューターに社会のインフラをそれほど依存していなかったのではないかと... との説だという。ロシアも中国も。

一方、コンピューターへの依存度が高い先進国では政府の企業との協調により、的確な措置が取られて、問題が起きたとしてもマイナーな問題にとどまったと。

悲喜こもごもと最初に書いたのは、「reverse Y2K problem」が起こりそうなこと。企業も政府も、例えば80年代にプログラマーなどとして活躍していたものの、90年代は職に溢れていたような人を大量に雇った。古いプログラムを書き換える為である。彼等は役立った。しかし、何もなく世界がY2Kを通過したら、そうしたY2K要因雇用者はどうなるのか。

むろん、企業の中でY2K担当者になって企業の業務全体に詳しくなって出世の糸口をつかんだという人もいるそうである。ナイス。しかし、プログラムを書き換えていただけの人はかなりの程度「明日からの仕事」に困る。「実は何か起きて欲しかった」という近くレイオフが確実な老練プログラマーの話が新聞に載っていた。

Y2Kに関して世界は最初の数日を無事通過した。しかし、副次的な問題はまだまだ出てきそうです。

それでは、みなさまには良い一年をお過ごし下さい。

《当「ニュース」は、住信基礎研究所主席研究員の伊藤（ 03-5410-7657 E-mail ycaster@gol.com ）が作成したものです。許可なき複製、転送、引用はご遠慮下さい。また内容は表記日時に作成された当面の分析・見通しで一つの見方を示したものであり、売買を推奨するものではありません。最終的な判断は、御自身で下されますようお願い申し上げます》